

## レッツ豪ソング入門



### 知っておきたい 豪ソング その3

# “CLICK GO THE SHEARS”

(歌詞一部)

## 羊の毛刈師がテンポよく毛を刈ります 『CLICK GO THE SHEARS』 クリック・ゴー・ザ・シアーズ

羊がたくさんいる、ここオーストラリア。この曲は、羊の毛を刈るショーなどでよく流れているので、耳にされた方も多はず。日本でも『調子をそろえてクリック、クリック、クリック!』と訳され、紹介されています。

We publish the words and music are only for non-commercial as well as just for educational purposes. Also we carry the words and music refer to Japanese copyright law.  
本誌に掲載させた歌詞は商用目的ではなく、教育の目的のみで掲載されています。また、日本の著作権法も参考に紹介しています。

### 編集部による解釈

1番では、熟練の羊の毛刈師が、朝から羊の毛刈りに勤しむ様子が歌われています。「自慢の腕はまだまだ若いものには負けないぞ」と調子よく羊の毛を刈っている毛刈師。紹介した歌詞は一部で、3番以降では仕事を終えた毛刈師が、仲間と一緒に酒場に向かい、今度はハサミではなく、お酒を手にして楽しく飲む、というストーリーに続きます。

### ポイント単語

- \*1: shearer … 「毛を刈る人」
- \*2: bare-bellied … 「腹部の毛が刈られて、地肌がむき出しになった状態」の事をさします。
- \*3: yoe … 「羊」
- \*4: ringer … 「熟達した毛刈り職人」
- \*5: snagger … 「運の良い人」

Out on the board  
 The old shearer<sup>\*1</sup> stands,  
 Grasping his shears  
 In his thin bony hands;  
 Fixed is his gaze on  
 A bare-bellied yoe,<sup>\*2</sup> \_\_\_\_\_<sup>\*3</sup>  
 Glory if he gets her,  
 Won't he make the ringer go.<sup>\*4</sup>

Click go the shears boys,  
 Click, click click,  
 Wide is his blow  
 And his hands move quick,  
 The ringer looks around  
 And is beaten by a blow,  
 And curses the old snagger<sup>\*5</sup>  
 With the bare-bellied yoe.